

# 建築物耐震診断・補強設計評価申込要領

【平成23年度用】

社団法人 大阪府建築士事務所協会

# 目 次

I	申込み手続き	1
	1 評価対象建物	
	2 申込み方法	
	3 耐震診断等評価の単位	
	4 申込み受付	
II	評価委員会による審査	2
	1 ヒアリング	
	2 審査	
III	所要時間	2
IV	経費	3
V	通知書の交付	3
VI	事務局・申込み先	3
VII	受付・場所	3
VIII	建築物耐震診断・補強設計評価委員会開催日	3
	別紙-1 建築物耐震診断・補強設計評価説明資料	4
	別紙-2 建築物耐震診断・補強設計評価手数料表	7
	様式-1 建築物耐震診断・補強設計評価申込書	9
	様式-2 大阪府公立学校施設耐震診断等概要表	10
	様式-2 一般建築物耐震診断等概要表	11
	様式-3 委任状	12



### 3 耐震診断等評価の単位

(1) RC造建物の評価単位は、構造的に一体となっている建物を1棟（又は1件）として扱います。[構造的に分離された建物（例えば、EXP. Jで分離された建物及びL字型、T字型等の平面を持つ建物など）は2棟（2件）以上となるので申込書及び概要表は、それぞれ作成して提出してください。]

(2) 屋内運動場の評価単位は、文部省大臣官房文教施設部「屋内運動場等の耐震性能診断基準（平成18年版）」にあるように、標準的な架構種別に該当する場合は、1件として扱います。

### 4 申込みの受付

申込みは、1の2の(1)により申込みいただき、別紙-2による評価手数料が協会指定口座へ振り込まれたことを協会が確認した時点で受理したこととし、後日、事前審査の日時、場所等を電話連絡いたします。

## II 評価委員会による審査

### 1 事前審査

評価に先立ち、評価委員会担当者より説明資料に基づき、診断実施者からヒアリングを行います。

なお、事前審査の議事録を所定の書式により作成してください。（書式は協会ホームページからダウンロードしてください）

診断実施者は、一級建築士の資格を有し、本耐震診断・補強計画を実際に行い、かつ、その内容に責任をもって対応できる方（以下「診断実施者」という）とします。

診断実施者が、申込者（受託事務所）以外（協力事務所等）の場合は、その旨が確認できる書面を申込み時に提出して下さい。

※追加検討資料の提出は原則事務局経由とします。なお、メールで追加検討資料を提出する場合は、A4サイズ5枚を上限とします。

### 2 審査

事前審査終了後、提出された評価委員会用説明資料により評価委員会が審査を行い、耐震診断等の内容及び結果を判定します。

※評価委員会用説明資料の作成は、評価委員会担当者の確認を行って下さい。

※評価委員会用説明資料として、評価委員会の1週間前までに、別途指示する抜粋資料（すべての指摘事項を修正、差し替えたもの。）を11部作成し、事務局評価委員会担当者に提出してください。なお、事務局提出前に担当委員の了解を得て下さい。

※コンクリート試験強度が著しく低い場合には、供試体の提出を求めることがありますので、出来るだけ保存して置いてください。

## III 所要期間

評価に要する期間は、申込書受理後、最低で概ね2～3ヶ月程度の予定ですが、条件により異なる場合がありますので、余裕を見込んで申込みをしてください。

#### IV 経費

本評価に要する費用は、別紙-2のとおりです。

#### V 通知書の交付

評価審査を受け、評価委員会の承認を得たものについては、協会から「通知書」を交付します。説明資料については1部を申込者に、1部は当協会にて保管します。(なお、交付前に評価委員会担当者による訂正済みの確認書を当協会に提出してもらいます。)

#### VI 事務局・申込み先

社団法人 大阪府建築士事務所協会 (担当者：義本)

〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-10 大阪建築会館2階

TEL : 06-6946-7065 FAX : 06-6946-0004

#### VII 受付・場所

1 平成23年度は下記日時で受付いたします。

4月期受付：平成23年 4月1日(金) 午前9時30分から午後3時まで

5月期受付：平成23年 5月2日(月) 午前9時30分から午後3時まで

6月期受付：平成23年 6月1日(水) 午前9時30分から午後3時まで

7月期受付：平成23年 7月1日(金) 午前9時30分から午後3時まで

8月期受付：平成23年 8月1日(月) 午前9時30分から午後3時まで

9月期受付：平成23年 9月1日(木) 午前9時30分から午後3時まで

10月期受付：平成23年10月3日(月) 午前9時30分から午後3時まで

11月期受付：平成23年11月1日(火) 午前9時30分から午後3時まで

12月期受付：平成23年12月1日(木) 午前9時30分から午後3時まで

1月期受付：平成24年 1月6日(金) 午前9時30分から午後3時まで

2月期受付：平成24年 2月1日(水) 午前9時30分から午後3時まで

3月期受付：平成24年 3月1日(木) 午前9時30分から午後3時まで

※申込みをされる場合は、委託業務の進捗状況を確認のうえ、受託事務所より必ず電話で受付日時の事前予約を取ってください。事前予約のないものは受け付けられませんのでよろしく願いいたします。

2 受付場所

受付は事務局の所在地にて行いますが、事前予約をとっていただく時にご確認ください。

#### VIII 建築物耐震診断・補強設計評価委員会開催日

1 平成23年度は下記日時で開催いたします。

5月期：平成23年 5月23日(月)

1月期：平成24年 1月27日(金)

7月期：平成23年 7月19日(火)

2月期：平成24年 2月28日(火)

9月期：平成23年 9月26日(月)

3月期：平成24年 3月30日(金)

11月期：平成23年11月29日(火)

## 建築物耐震診断・補強設計評価説明資料

### I 評価区分

必要記載項目は評価の区分により次のとおりです。

区 分	評 価 内 容	項 目 番 号
A	既存建物の耐震診断	1 ～ 9
B	耐震補強計画	1 ～ 11
C	総合判定 (A及びB)	1 ～ 11

### II 耐震診断等説明資料及び記載項目

(項目)

注：項目の細目に\*印があるものは屋内運動場等の評価に必要な説明資料です。

#### 1 耐震診断等概要表 (様式-2) のA4縮小版 (付図IIは不要)

#### 2 建物概要

2-1 建物名称：建物区分 (棟番号)・所在地・用途

設計者：名称・所在地・設計年月日

施工者：名称・所在地・設計年月日

2-2 建物規模等

建物面積・延べ面積・階数 (PH)

診断対象面積

原設計用途・現状用途

2-3 設計図書の有無

意匠図・構造図・構造計算書・地質調査資料

2-4 被災の有無・程度等

2-5 改修歴

2-6 その他

[説明]

2-1、2-2：最新 (当該年度) の施設台帳に基づいて記載する。

2-6：構造上の特徴 (例・上階増築を考慮して設計されている場合など)

#### 3 診断の方針

診断の方針を記載する。

3-1 診断準拠基準

3-2 診断に際して使用した診断プログラム名 (バージョン)、プログラム作成者名

3-3 診断実施者名 (資格)

3-4 診断実施年月

3-5 診断回数

3-6 診断に際して行ったモデル

[説明]

3-1：RC造— (財) 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針 同解説 (2001年改訂版)」

：S造—屋内運動場等の場合：文部科学省大臣官房文教施設部発行「屋内運動場等の耐震性能診断基準 (平成18年版) 第4版」

：S造—教室等：(財) 日本建築防災協会発行「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断及び耐震改修指針・同解説 (1996)」

3-2：プログラム名には (財) 日本建築防災協会による評定の有無を明記する。

※使用電算プログラムの最新バージョン及びバグリストとチェック結果を追加検討資料として添付すること。

- 3-5: RC造建物の場合は原則として1次、2次診断とする。屋内運動場等の場合は、前掲「屋内運動場等の耐震性能診断基準」を適応する部分については不要とする。
- 3-6: 例えば、壁の扱い方(開口部、袖壁など)、建物形状により建物を分割(ゾーニング)して診断した場合などについて記載する。図面のない建物等についても記載する。

#### 4 主な仮定

建物重量、材料強度などを記載する。

- 4-1 建物重量  
4-2 材料強度  
4-3 その他

[説明]

4-1: 積算値、設計図書記載値、その他、などの建物重量

4-2: コンクリート

原設計時基準強度 : (Fc =  $N/m^2$ )

コア圧縮試験結果 : (Fc =  $N/m^2$ )

診断時採用強度 : (Fc =  $N/m^2$ )

: 鉄筋

原設計時基準強度 : (Fc =  $N/m^2$ )

診断時採用強度 : (Fc =  $N/m^2$ )

: 鋼材

原設計時基準強度 : (Fc =  $N/m^2$ )

診断時採用強度 : (Fc =  $N/m^2$ )

4-3: 荷重の採り方(ゾーニングした場合など)

#### 5 現地調査結果の概要

現地調査を行った場合はその結果を添付する。

[説明]

現地調査の例

5-1: 診断対象建物現況(内観・外観など)

特に、以下の項目について写真を撮影し、資料として添付する。

- ・建物の全景—東西南北の各外部面について、架構の全体が把握できるもの。
- ・鉄骨造の場合は、施工状況調査記録

★柱、梁接合部 [溶接継ぎ目、ボルト、ダイヤフラム]

★柱脚 ★部材、接合部の全面錆の有無

5-2: 躯体亀裂調査結果

5-3: コンクリート圧縮強度調査結果(公的機関の試験結果)及び結果のまとめ

5-4: コンクリートの中性化深さの実測結果(公的機関の試験結果)及び結果のまとめ

5-5: 建物不同沈下調査結果

5-6: その他

#### 6 形状指標SD又は形状係数Fes

#### 7 経年指標T

#### 8 建物図面

診断に必要な建物図面

8-1 配置図(エキスパンション ジョイント位置、空き寸法記入)

8-2 平面図

8-3 伏図

- 8-4 軸組図
  - 8-5 断面リスト（柱、壁、梁）
  - 8-6 施設台帳（総括表、棟別面積表、配置図）
- [説明] 寸法などが読みとれれば設計図書のコピーでもよい。
- 8-1：診断対象建物を明示する。
  - 8-2：現状室名を記入する。
  - 8-3：各方向全通りに袖壁長さ、開口寸法等を記入する。

## 9 診断結果

診断結果の判断可能な資料

- 9-1 診断結果表
  - 電算出力結果表を転載する。（採用値を明記する。）
- 9-2 CT-Fグラフ
- 9-3 部材破壊モード図（伏図及び軸組図）
- 9-4 その他
- \*9-5 S 要素耐力計算書
- \*9-6 S 要素耐力表
- \*9-7 S 保有耐力とF値の計算書
- 9-8 診断結果の所見
  - X方向：
  - Y方向：

[説明]

- 9-1：電算機を使用した場合（RC造）
  - 電算出力結果表を転載し、採用値を明記する。
- 9-2：S造の屋内運動場等の場合、前掲の「屋内運動場等の耐震性能診断基準（平成18年度版）第4版」を適用する部分については不要とする。
- 9-3：各部材の耐力、F値、破壊モードを伏図及び軸組図に記入する。
- 9-4：例えば、3次診断的な検討が必要な部材、フレームがある場合などの検討結果を示す。（例：下階壁抜けフレームなど）

## 10 耐震補強計画

補強計画について記載する。

- 10-1 補強方針
- 10-2 補強方法
- 10-3 補強案及び標準的補強詳細
- 10-4 補強建物診断結果
- 10-5 診断結果後の診断結果の所見

[説明]

- 10-1：補強建物目標耐震性能など
- 10-2：補強の方法など
  - 新しい工法を採用する場合には説明に必要な技術資料を添付する。
- 10-3：補強部材の配置図、標準的・代表的補強詳細図と説明・仕様等、施工上の留意事項など
- 10-4：9-1、2、3、4、5S、6S、7S参照

## 11 補強詳細設計

- 11-1 補強部材計算書
- 11-2 補強詳細設計図

# 大阪府学校施設等 建築物耐震診断・補強設計評価手数料表

社団法人 大阪府建築士事務所協会  
(建築物耐震診断・補強設計評価委員会)

## 1. 校舎等

校舎等(RC造)建築物耐震診断・補強設計評価手数料表					
面積・工法区分		評価区分	耐震診断判定	耐震改修 計画判定	総合判定
延べ床面積 1棟当たり	200㎡ 以内		157,500 円	157,500 円	210,000 円
	200㎡超 ～500㎡以内		210,000 円	262,500 円	420,000 円
	500㎡超 ～2,000㎡以内		262,500 円	315,000 円	472,500 円
	2,000㎡超～4,000㎡以内		315,000 円	367,500 円	577,750 円
	4,000㎡超～6,000㎡以内		367,500 円	420,000 円	682,500 円
	6,000㎡超～10,000㎡以内		420,000 円	472,500 円	787,500 円
	10,000㎡超		525,000 円	577,500 円	945,000 円
建物・不整形・混構造及び特殊工法等によるもの			別 途 算 定		

注1) 別途算定については、配置図、各階平面図、主要断面/立面図、棟/区分別面積表、施設台帳を、提出先宛名を明記してお送りください。その他、見積書が必要な場合も同様とします。

注2) 延べ床面積：施設台帳に基づく判定対象建築物の各階床面積の合計です。

注3) 書類の内容の不備が著しく、判定に多くの日数を要する場合には、追加料金を請求させていただきます。事前審査は概ね2回程度とします。

注4) 事前審査は2回とします。3回以上の事前審査を受ける場合は、1案件・事前審査1回につき耐震診断判定、52500円、改修計画判定あるいは総合判定 各105,000円の追加料金を請求させていただきます。

注5) 社団法人大阪府建築士事務所協会会員事務所は10%引きとさせていただきます。

お願い：評価手数料は、申込時に下記銀行口座にお振込み下さい。

なお、振込手数料はご負担願います。

銀行名	口座種別	口座番号	口座名
りそな銀行 大阪営業部	普通預金	7342700	社団法人大阪建築士事務所協会

# 学校以外の一般建築物 建築物耐震診断・補強設計評価手数料表

社団法人 大阪府建築士事務所協会  
(建築物耐震診断・補強設計評価委員会)

## 1. 評価手数料

面積・工法区分		評価区分	耐震診断判定	耐震改修 計画判定	総合判定
		延べ床面積 1棟当たり	500㎡ 以内		157,500 円
500㎡超～ 2,000㎡以内			210,000 円	262,500 円	388,500 円
2,000㎡超～ 4,000㎡以内			262,500 円	315,000 円	472,500 円
4,000㎡超～ 8,000㎡以内			367,500 円	420,000 円	682,500 円
8,000㎡超			別途算定		
標準的な架構種別以外のもの			別途算定		

- 注1) 耐震補強計画判定には、現状と補強後の耐震診断を含む
- 2) 特殊工法等による審査料は別途算定します
  - 3) 申込者の都合で審査が長引く場合は、上記のほか別途算定します
  - 4) 案件終了後の変更等については、内容の程度により別途算定します
  - 5) 委員会受付後に審査の途中で取り下げられた場合でも判定費用は申し受けます
  - 6) 書類の内容の不備が著しく、判定に多くの日数を要する場合には、追加料金を請求させていただきます。
  - 5) 事前審査は2回とします。3回以上の事前審査を受ける場合は、1案件・事前審査1回につき耐震診断判定、52500円、改修計画判定あるいわ総合判定 各105,000円の追加料金を請求させていただきます。
  - 6) 社団法人大阪府建築士事務所協会会員事務所は10%割引とさせていただきます。

お願い：評価手数料は、申込時に下記銀行口座にお振込み下さい。

なお、振込手数料はご負担願います。

銀行名	口座種別	口座番号	口座名
りそな銀行 大阪営業部	普通預金	7342700	社団法人大阪建築士事務所協会

【協会記入欄】

受付番号	
受付年月日	

平成 年 月 日

### 建築物耐震診断・補強設計評価申込書

社団法人 大阪府建築士事務所協会 御中

申請者名： 印

申込者名： 印

下記建物の耐震診断等に関する評価を申込みます。

記

1 建物名称 \_\_\_\_\_

2 建物区分 校舎（棟番号等 \_\_\_\_\_）屋内運動場（棟番号等 \_\_\_\_\_）  
その他の建築物（棟番号等 \_\_\_\_\_）

3 建物所有者名 \_\_\_\_\_

4 評価を申込みする要件

- (1) 耐震診断
- (2) 耐震補強計画
- (3) 総合判定（上記の(1)及び(2)）

5 申込み担当者連絡先

- (1) 部課名・担当者名： \_\_\_\_\_
- (2) 連絡先所在地：（〒 - ） \_\_\_\_\_
- (3) 電話： \_\_\_\_\_  
FAX： \_\_\_\_\_

6 診断実施者連絡先

- (1) 事務所名： \_\_\_\_\_
- (2) 診断実施者名： \_\_\_\_\_
- (3) 連絡先所在地：（〒 - ） \_\_\_\_\_
- (4) 電話： \_\_\_\_\_  
FAX： \_\_\_\_\_





# 委 任 状

私 議 住所 \_\_\_\_\_ を代理人と

氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

定め、下記に関する権限を委任いたします。

記

(委任事項)

1 耐震診断等評価に関する一切の件

建物名：

平成 年 月 日

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印



大阪府公立学校施設耐震診断等判定説明資料《要約版》  
(下記の書類のうち、実務委員の指示するものを作成)  
(判定委員会用11部)

I. 作成方法

- ・ A4版20枚から30枚程度にまとめ(図面等がA3の場合は折込む。縮小する場合は、文字・図等が判読可能なもの)、右下側に頁(受付番号の末尾2又は3桁+頁番号(000-0))を明示し、ファイル用穴あけ(2穴)し、ホッチキス(左側2ヶ)止めとする。背表紙は必要ない。両面コピーとしてもよい。
- ・ できるだけ手間を省き、「耐震診断報告書」より抜粋するなどして作成してください。
- ・ 要約版は担当委員の確認を得てください。
- ・ 要約版の提出日は、評価委員会の3日前(土・日・祝日を含まない)迄にお願いいたします。

II. 構成・記述内容

- 0-1. 報告書表紙
- 0-2. 各事前審査議事録(A4版)
- 0-3. 申込書の写し
- 0-4. 目次(報告書の目次を利用し、省略した部分に消し線をいれる)

1. 建物概要

- ①大阪府公立学校施設耐震診断等概要表(様式-2:A4版)、
- ②建物概要
- ③診断の方針
- ④現地調査結果の概要  
建物外観写真(S造の場合は、部材、接合部などが分かる写真を追加で添付)  
コア圧縮試験・中性化深さ試験結果と診断採用値などのまとめを含む。
- ⑤形状指標(現状と補強後)
- ⑥経年指標
- ⑦建物図面  
配置図(当該建物をマーキングか色分けする)  
平面図、伏図、軸組図  
鉛直部材(柱・壁)の断面リスト)

2. 耐震診断

- ⑧診断表
- ⑨C-F図
- ⑩破壊モード  
破壊モード、部材耐力、F値を軸組図に記入する(⑦の軸組図と併用してよい。また、開口形状がわかれば電算アウトプットでもよい)。X方向、Y方向の正加力のみ添付(ただし、負加力が正加力よりIs値が相当低い場合は負加力を添付)する。
- ⑪その他の検討  
第2種構造要素の検討  
下階壁抜け柱の検討など
- ⑫診断結果の所見

3. 補強計画(方針、補強後の診断結果)

- ⑬耐震補強の方針と方法(1頁程度)
- ⑭補強計画伏図(既設部分と補強部を色分けするなどしてわかりやすくする)
- ⑮補強計画軸組図( // )
- ⑯補強後の診断表
- ⑰補強後のC-F図
- ⑱破壊モード(⑩に倣う)
- ⑲その他の検討(⑪に倣う)
- ⑳補強の詳細図

4. 総括

- 1. 2. 3を総括して説明する。

5. 追加検討資料

判定部会で指摘のあった検討資料を資料番号を明記して添付する。

注) 鉄骨(S)造建物の場合、C-F図はqSt-F図とする。

注) 塔屋、附属階段、高架水槽などの検討があらかじめされている場合は、その他の検討として、部会の指摘によって実施した場合は、追加検討資料として添付する。

注) 使用電算プログラムの最新バグリストとチェック結果を追加検討資料として添付すること。